

基本目標2 元気とうるおいのまち (その1)

18 港湾利活用地域振興基金事業 (担当：商工港湾課) 283万9千円

リサイクルポート能代港の利活用を促進するために設けた基金（貯金）を活用して各種事業を行います。

今年度は、シンポジウムの開催や企業訪問などのほか、はまなす画廊のリニューアルを行います。

主な経費

- はまなす画廊製作費用 122万8千円
- シンポジウム開催費等 161万1千円

財源

- 市の負担額 283万9千円
(うち貯金の取り崩し 283万9千円)

19 能代港利活用促進事業 (担当：商工港湾課) 187万4千円

港利活用促進のため、港湾関係団体を通じた情報収集や情報発信、企業訪問活動などに取り組みます。

主な経費

- 能代港湾振興会等負担金 155万1千円
- 会議、セミナー参加旅費等 32万3千円

財源

- 市の負担額 187万4千円

20 バイオマスタウン構想推進事業 (担当：環境企画課) 217万4千円

地域のバイオマス（生物資源）を利用した新たな環境関連産業を創出するため、バイオマス事業推進協議会を設置して事業化の検討を行うほか、農業残さやもみ殻、木質バイオマスの利活用に関する調査研究を行います。

また、廃食用油の回収を行います。

主な経費

- 調査研究委託 180万円
- 協議会委員謝礼等 37万4千円

財源

- 市の負担額 217万4千円



21 企業開発事業 (担当：商工港湾課) 365万8千円

企業立地促進のための情報収集や企業訪問などを行います。また、進出企業に対しては、用地取得に対する助成や雇用奨励金などの奨励を行います。

主な経費

- 雇用奨励金 140万円
- 企業訪問等旅費 71万6千円
- 企業信用調査費用等 154万2千円

財源

- 市の負担額 365万8千円



建設中の新規立地企業

22 起業支援事業 (担当：商工港湾課) 303万円

市内で新たに事業を始めたい方または設立予定の中小企業のために、事業を始めるための経費の一部を補助します。

主な経費

- 起業・新製品開発等支援事業費補助金
(100万円×3件) 300万円
- 審査会費用 3万円

財源

- 市の負担額 303千円



畠町に移転した
中心市街地活性化室

基本目標 2 元気とうるおいのまち (その2)

23 新商品開発・新規分野参入支援事業 (担当：商工港湾課) 200万円

企業などが新商品開発や異業種など、新規分野に参入する際に生じる、新たな必要経費に対して補助します。

主な経費

- 新商品開発・新規分野参入支援事業費補助金 (100万円×2件) 200万円

財源

- 市の負担額 200万円



24 チャレンジショップ事業 (担当：商工港湾課) 223万5千円

新たに起業を志す人が、試行的に飲食店や商品販売を行うことができる店舗を、畠町に2棟（飲食・その他各1棟）新たに設けます。

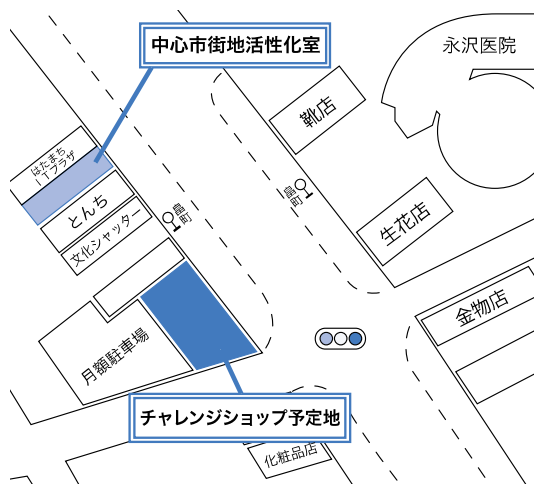
家賃は無料で、光熱水費を全額補助します。

主な経費

- コンテナ家賃 126万円
- 光熱水費補助金 24万円
- 看板設置委託料等 73万5千円

財源

- 市の負担額 223万5千円



25 地域雇用総合対策事業 (担当：商工港湾課) 1,638万2千円

県の補助事業を活用して、雇用相談員を配置するとともに、求職者や新卒者のスキルアップにつながるセミナーの開催などを行います。

主な経費

- 地域雇用総合対策事業委託料 1,638万2千円

財源

- 県の補助額 1,638万2千円



26 デュアルシステム事業 (担当：商工港湾課) 81万円

就職希望の高校生が、地元企業で職業実習を行うことで、ビジネスの基礎や社会人としてのマナーなどを学ぶとともに、円滑な地元就職・定着を図ります。

また、多くの企業に参加していただくため、新たに受入企業への研修手数料を設けます。

主な経費

- 能代デュアルシステム事業委託料 81万円

財源

- 県の補助額 70万円
- 市の負担額 11万円



市内企業で実習をする高校生

27 畑作就農定着促進事業

(担当：農林水産課)

360万円

新規就農者や農業後継者の育成のため、農業技術センターでネギや山ウド、アスパラなどの主要作物を中心とした畑作技術を、2年間で学べる研修制度を新たに設けます。これにより、畑作の拡大や農家収入の増、耕作放棄地の解消を図ります。

主な経費

- 畑作就農定着促進事業費補助金
(3人×12カ月×10万円) 360万円

財源

- 市の負担額 360万円

**28 シニアパワー営農支援事業**

(担当：農林水産課)

5万円

遊休農地を活用した野菜づくりにより、高齢者の健康づくりや所得の向上を図ります。

主な経費

- 材料費 5万円

財源

- 市の負担額 5万円

29 空き家・空き農地情報化事業

(担当：農林水産課)

5万1千円

農村部への定住促進を図るため、空き家・空き農地の情報をホームページで公表します。

主な経費

- 広報のしろ印刷代 5万1千円

財源

- 市の負担額 5万1千円

30 木材資源利活用促進事業

(担当：木材振興課)

1,232万3千円

木材産業の振興と未利用木材資源の有効活用を促進するため、山林の間伐放置材や木材工場等で発生する端材等を収集し、バイオマス発電所で処理します。

主な経費

- 木材資源利活用促進業務委託料 1,232万3千円

財源

- 県の補助額 1,232万3千円

**31 秋田スギ販路拡大システム確立事業**

(担当：木材振興課)

1,295万3千円

複数の木材企業の製品の品質・規格等の統一や在庫の一元管理を行い、大口需要や新規取引に対応するシステムの確立を図ります。

主な経費

- 秋田スギ販路拡大システム確立事業業務委託料 1,295万3千円

財源

- 県の補助額 1,295万3千円



基本目標2 元気とうるおいのまち（その3）

32 木のまちづくり推進事業

（担当：木材振興課）

500万円

秋田スギへの理解を深め、地場産材の需要拡大を図るため、住宅の新築・増改築などに秋田スギを利用した場合に補助します。

外壁・外塀は、1戸あたり20万円を上限に、内装は、1戸あたり10万円を上限に補助します。

主な経費

- 秋田スギの温もり補助金 500万円

財源

- 市の負担額 500万円



33 松くい虫対策事業

（担当：農林水産課）

3,370万9千円

松林を保護するため、国・県と協力して松くい虫対策を行っています。

市では、黒岡地区等の現況調査(150ha)、竹生・小友地区等の伐倒駆除(890㎡)、檜山城跡の薬剤散布(7ha)を行います。また、マツ林健全化整備事業として松林調査(25ha)、伐採処理(1,060㎡)を行います。

主な経費

- 伐倒駆除委託 1,757万円
- マツ林健全化整備事業 1,000万円
- 松林現況調査委託料等 613万9千円

財源

- 国・県の補助額 2,396万4千円
- 市の負担額 974万5千円

34 松くい虫対策市民活動支援事業

（担当：農林水産課）

186万5千円

個人の庭木等の松くい虫被害木の搬出処理を行います。

主な経費

- 被害木搬出処分委託料 182万4千円
- 事業に係る事務費等 4万1千円

財源

- 市の負担額 186万5千円

35 空き店舗流動化支援事業

（担当：商工港湾課）

633万5千円

空き店舗の利活用を促進し、その流動化を図るため、空き店舗の取得者や賃借者へ助成します。

①空き店舗の取得に関する助成

取得物件の店舗部分の固定資産税相当額（上限5万円）と登録免許税相当額（上限20万円）

②空き店舗の改装に関する助成

改装費の1/2（上限：中心市街地重点地域120万円
その他地区100万円または3万円/㎡の低い方）

③空き店舗の賃貸に関する助成

賃貸物件の店舗部分の固定資産税相当額（上限5万円）

④空き店舗の賃借に関する助成

賃借物件の賃借料の1/2を2年間助成（月額上限：
重点地域3万円、その他地区2万5千円）

主な経費

- 空き店舗流動化支援事業補助金 633万5千円

財源

- 県の補助額 56万2千円
- 市の負担額 577万3千円

36 大柄の滝階段改修支援事業

（担当：観光振興課）

100万円

大柄の滝を中心としたイベントが地域の皆さんによって行われます。老朽化した大柄の滝階段の改修費用の一部を助成します。

主な経費

- 大柄の滝階段改修事業費補助金 100万円

財源

- 市の負担額 100万円



37 グリーン・ツーリズム推進事業

(担当：市民活力推進課) **35万円**

農村地域の活性化を図るため、能代いなか体験推進協議会を設立し、農家民泊を含めた体験型の教育旅行等の受け入れに取り組みます。

主な経費

- 能代いなか体験推進協議会補助金 15万円
- 秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会費 20万円

財源

- 市の負担額 35万円

38 滞在型観光推進事業

(担当：観光振興課) **304万2千円**

東北新幹線の全線開業を視野に入れた滞在型観光を推進するため、「でらっとのしる観光キャンペーン実行委員会」を設立し、パンフレットの作成などのPR事業や誘客活動のほか、新たな観光メニューの開発などを行います。

主な経費

- 青森DC (デスティネーションキャンペーン) 負担金 100万円
- でらっとのしる観光キャンペーン実行委員会補助金 124万5千円
- 誘致活動等旅費 79万7千円

財源

- 市の負担額 304万2千円

39 子ども館省エネ改修事業

(担当：子ども館) **120万円**

温室効果ガスの排出を削減するため、太陽光発電装置やLED蛍光灯設備を導入します。今年度は、そのための実施設計を行います。

主な経費

- 実施設計業務委託料 120万円

財源

- 県の補助額 120万円



『太陽光発電装置』設置予定地

40 モア・リサイクルプラン推進事業

(担当：環境衛生課) **124万3千円**

リサイクルを推進するため、資源回収団体の育成やごみ分別の啓発、また、不法投棄対策などを行っています。

不法投棄は、法律で5年以下の懲役、1,000万円以下の罰金が科せられますので、絶対にしないでください。

主な経費

- 資源回収団体への謝礼 30万8千円
- 清掃週間汚泥収集運搬委託料 32万6千円
- ごみ分別ポスター印刷費等 60万9千円

財源

- 資源ごみの売払収入 124万3千円



41 ごみ収集運搬・処理事業

(担当：環境衛生課) **4億9,601万5千円**

ごみの収集運搬と処理を行います。

ごみは、燃えるごみ、資源ごみ（容器包装プラスチック、缶類、ビン類、紙類、乾電池、ペットボトル）、燃えないごみ、粗大ごみに分別しています。できるだけ資源ごみにできるよう分別をお願いします。

また、ごみ処理は、能代山本地域の市町で構成する能代山本広域市町村圏組合で行っていることから、この組合に経費を負担しています。

主な経費

- 処理負担金 3億2,752万円
- 収集運搬費用 1億6,849万5千円

財源

- 市指定袋の販売収入 8,242万5千円
- 資源ごみの売払収入等 1,163万円
- 市の負担額 4億 196万円